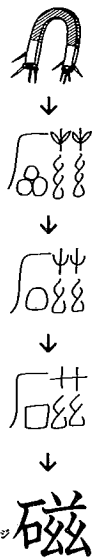


磁

六年 画数 14
筆順
オン ジ
磁 磁

成り立ち



「草がしげり、ふえる」という意味を表した「茲」と「石」とを組み合わせて作った字です。

「ふえる石」という意味の字で、磁力で仲間の石を引き寄せ吸いつける石で、「磁鉄鉱」という鉱石を表したものです。

磁力とは、「石が他の石を引きつける力」＝「石がふえる力」という意味のことばです。

使いつ方

▽磁石で砂場の砂をかき回しますと、砂鉄がいつぱい吸いついて来ます。これを紙に集めて、その下に磁石をやる、と、砂鉄が立ち、磁石を動かすと、砂鉄が運動しておもしろいです。磁石の働きって不思議ですね。

▽焼き物のうち、陶器よりもかたくて、きめの細かい物を磁器と言います。合わせて陶磁器と言いい、俗に瀬戸物と言われています。しかし、瀬戸物とは「瀬戸で作られた物」というのが本当の意味です。

熟語例

- ▽磁石（「磁力のある石」という意味のことばですが、今は石に関係なく、「鉄を引きつける力のある物」を言います。また、「磁針」のことを言います。）
- ▽磁針（「磁力のある針」で、中央で支え、自由に動いて南北を指し示すように作られた物のこと。）
- ▽磁気（「鉄を引きつける力」のことを言います。）
- ▽磁器（焼き物のうち、かたくてきめの細かい物のこと。ふつうは純白で、青いうわ薬をぬって焼いた物は「青磁」と言います。）

射

六年 画数 10
筆順
オン シヤ
射 射

成り立ち



弓に矢をつがえた形を表した「日」と、手の意味を表した「寸」とを組み合わせて作った字です。

「日」の形が、「身」という字の形に似ていたため、今の字になりました。

「弓を「いる」」ことを表した字です。【例】射的、騎射、発射。

「鉄砲を「撃つ」」ことにも使います。【例】射撃。

また、「的に「あてる」」ものだから、「光を「あてる」」意味にも使います。【例】照射。

また、「光や熱を出す」意味にも使います。【例】放射。

「発の旧字体は、「發」で、「弓を射る」のが本義の字であり、「矢を「放つ」」ことである。」

使いつ方

▽昔は、弓を射ることを「発射」と言いましたが、今では、鉄砲や大砲やロケットを撃つことを「発射」と言うようになりました。

▽かぜがやはりそうなので、予防注射を打ってもらいました。注射は痛いのでいやですが、かぜにかかるよりは良いので、わたしはがまんしました。

熟語例

- ▽発射（発も「弓を射る」こと。矢を放つことですが、今は鉄砲やロケットを撃つ意味に使います。）
- ▽射的（弓で的を射ること。）
- ▽射撃（射も撃も「鉄砲を撃つ」こと。）
- ▽照射（光をあてて照らすこと。）
- ▽放射（光や熱を外に放出すること。線状のものを四方八方に出すことで「中央広場から八方に分かれる道路」を「放射状道路」と言うようにも使います。）
- ▽注射（針を打って、その針から薬の液を体の中に注ぎこむこと。この「射」は「注射針を打ちこむ」意味）
- ▽射幸（まぐれあたりをねらうこと。【例】あの人は射幸心の強い人だ。）